風水害への備えは大丈夫？

地球温暖化現象などにより、短期間での局地的な大雨が増えています。

台風や集中豪雨での被害は毎年起きています。まだまだ大丈夫だと思っていても、急激に状況が変化する場合があります。最近では短時間に大雨が降るゲリラ豪雨も増えています。台風などによる洪水の起きやすい時期を迎え、正しい情報を早めに入手し、すばやく行動しましょう。

◆落ち葉やゴミが詰まってしまい、道路の集水マスや宅地の雨水マスをふさいでしまうと、雨水を速やかに排水できません。日ごろから気をつけましょう。

◆河川や水路に沿った地域や、低地帯では、地面に浸透しきれなくなった雨が河川に流れ込み、氾濫の危険があります。川の様子を見に行くことは絶対止め、危険を感じたらすぐに避難しましょう。

土砂災害には情報収集と早めの避難を！

台風の時期には、雨量が多くなることから、風水害の被害と同時に、地盤がゆるんで、毎年多数の崖崩れなどが発生します。

土砂災害は、地表の土砂や岩が崩れ落ちることで、地震や長雨、大雨などで地盤がゆるんだりして発生します。

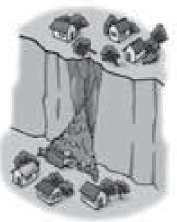
大雨などで土砂災害の危険度が特に高くなった時には「土砂災害警戒情報」が発表されます。

この情報は、テレビ・ラジオなどの速報やインターネット、携帯電話などで入手できますので、すばやく避難するためにも入手方法を確認しておきましょう。

また、防災行政無線などの呼びかけにも注意しましょう。

こんな前触れ現象に注意！

がけ崩れ

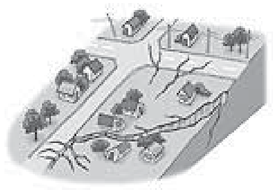


・がけから水がわき出る
・小石がパラパラと落ちてくる

土石流

・山鳴りがする
・川の水が急ににごる

地すべり



・地面にひび割れができる
・がけや斜面から水がふき出す

かながわシェイクアウト

～参加しよう！いっせい防災行動訓練～

9月5日（木）午前11時

シェイクアウト訓練とは

シェイクアウトとは、アメリカで始まった訓練で、地震を想定して、参加者が一斉に行動するという新しい形の訓練です。県内全域の自宅や学校、職場などで、同じ時間にそれぞれの場所で、1分間を目安に右の「安全行動の①-②-③」を行います。

皆さんもご一緒に身を守る安全行動をお願いします。

安全行動の①－②－③

①ドロップ：周囲の落下物から離れて姿勢を低くする！
②カバー：体・頭を守る！
③ホールド・オン：揺れが収まるまでじっとする！

防災行政無線の試験放送を実施

地震・津波や武力攻撃などの災害時に国からの緊急情報を伝える全国瞬時警報システム（J-ALERT）の動作確認を行うため、国から送信されるデータを使って試験放送を行います。

▶とき　9月11日（水）午前11時頃、午前11時30分頃の2回
▶放送内容　「これは、試験放送です、（3回繰り返し）こちらは、大磯町です。」

※全国一斉に試験放送が実施されます。（試験放送前に事前放送します。）なお、天候等により試験放送中止の場合があります。

問　危機管理対策室　☎内線244